



# みまきさと 御牧の郷だより

地域の魅力、再発見！

第3号



御牧ふれあいの郷づくり協議会報 平成27年10月



## 地域ビジョン作成プロジェクト 地域づくり講演会が開催されました

御牧ふれあいの郷づくり協議会では、北御牧の地域づくりのため、将来ビジョンをみんなで考え、作成するプロジェクトを実施しています。

プロジェクト第一弾として、8月21日、地域づくりアドバイザー福島明美先生を招き「子どもも孫もずっと暮らせる北御牧12のヒント」という演題で講演会が行われました。

地域づくりは幸せづくり、一人ひとりの幸せがあって地域の幸せ。医療・福祉サービスなど、社会システムの崩壊危機不安や家族構造、ライフスタイル、価値観などあらゆるものの多様化が進む中で、地域コミュニティは危篤状態。「助け合う仲間・互いに関わる時間・皆が集い過ごす居心地の良い空間」の三間（サンマ）が欠けている。ではどうするか？地域の課題解決には、多様な分野・組織がつながり共同して取り

組むことが大切だと話されました。

みんなが主役となり、地域のお宝に気付く、目的を明確化して、楽しみながら、熱い想いと利になかった納得のいく倫理が必要、ということでした。

農学者・玉井袈裟男先生の理論では、地域づくりには「土の人」と「風の人」が必要であり、「地域を変える人材はよそ者・若者・ばか者である」との言葉を引合いに出し、コミュニティ再生に大切なのは自給自足の社会であり、居場所としての縁側をつくろうなど、先生の積み重ねてきた実践から貴重な話しをしていただきました。参加者は、北御牧の明日を、子どもたちの未来を描くヒントを共有できたのではないのでしょうか。先生はプロジェクトにこれからも一緒に携わっていただけます。ご期待を！



### プロジェクト第二弾

## 北御牧のこれからを作る ワークショップ開催！

第1回ワークショップが9月12日（土）に行われました。年代、職業もさまざま50名程の参加者がグループに分かれ、北御牧の課題を出し合い再確認することができました。

**第2回は10月17日（土）19時 北御牧公民館  
あなたもぜひ、ご参加下さい！**

みんなが主役となって自由に話し合い、北御牧の将来像を楽しく語りましょう。どなたでもご参加いただけます。お誘いあわせのうえ、お気軽にお越し下さい。

# 地域の子どもたちの昔と今

## たけのこの詩

宮 野村 伸也

昭和 50 年に結成以来二十有余年、北御牧村の青少年健全育成活動の一翼を担ってきたと衆目が認める「たけのこの会」(通称こども会)。小学生を対象にしたレクリエーションの普及啓発をはじめ、ガキ大将フェスティバル・こどもクリスマスパーティー・クリーンオリエンテーリング・夏祭り子ども神輿・ボランティア交流会等々、その活動は枚挙にいとまがありません。この間、幾多の子ども達が自ら奉仕の気持ちと実践活動を体験し、そして社会へと巣立っていきました。(当時は青年団活動も活発で若者たちの大半は何らかの会に所属していました。しだいに若者の村外流出とボランティア離れが進み「青年団」「たけのこ」ともに人数が減り活動ができなくなって、会は解散しました。)

## 北御牧地区友遊クラブ (通称みまきっ子) に関わって

北御牧母親連絡会 小山 美智子

旧北御牧村では学校が週休2日制に移行するに当たり、子どもたちの休みの過ごし方を考え、行政・JA・社協が共催で小学生を対象に「みまきっ子体験クラブ」の活動に取り組みました。

当時の活動記録を見ると、平成11年に始まり、多い年は100名近い参加者があり「農業体験」「地域交流」「料理体験」の3コースに分かれ年間10回の活動が行われていました。地域で子どもを育む歴史あるクラブです。

平成16年、合併を機に「みまきっ子体験クラブ」は「北御牧地区友遊クラブ」となり新たなスタートを切りました。行政主体の活動であったのが住民が主体となり「みまきっ子実行委員会」を発足。東御市教育委員会の委託を受け活動することになりました。その時から実行委員の一人として「みまきっ子」の活動に関わり10年が過ぎました。

振り返ると、改めて「みまきっ子」の素晴らしさが見えてきます。子どもたちの希望も取り入れた体験活動。友好関係を結んでいる新潟県の名立地区との海・山の交流。みそ作り等がありますが、子どもの自主性を大切に、スタッフはお手伝いに徹しています。「みまきっ子」は親子で参加でき、父母がスタッフとしてお手伝いもしていただけます。「みまきっ子」として参加していた子が、中学生・高校生となり、やがてスタッフとして参加してくれる子も出てきました。この活動が、地域づくり・人づくりとしても欠かせないと強く感じました。

(現在「みまきっ子」は、「遊遊クラブ」となってくしんたいが事務局を担当していて、市の広報などで、その活動が幾度となく紹介されていますが、参加希望者が多くスタッフが不足しているため、人数制限も必要なのではとの声も……ボランティアを広く募集しています。)





まちあるぎの様子



まちあるぎワークショップ



越後妻有地域（十日町氏と津南町）の事例

## 生活環境部会

8月21日の午後、福島先生のご指導のもと16名の参加で“まちあるぎ”をしました。

布下地区の健康づくりの為にウォーキングロードを「自然の気持良さや景観・伝統、風土、地域の特色・安心安全な道・憩いの場・子供の遊び場・農地の保全・災害時に関する事等」を考えながら五感をとぎすまし、ゆっくりしゃべりながら歩いてみました。言葉にした事は「おタカラ」「困った」「その他」に分けメモにとりカメラで撮影して、帰ってから地図に内容と写真を貼り込み、グループごとに発表しました。

普段見慣れていて気づかない景観、史跡、建物等に改めて感動し、段差や農業用水路がむき出し、草がおい茂って気付かなかつたり、横断歩道が無い事に危機感を感じ、また東電の鉄管は大丈夫？大水の時は……等々、災害時に思いをはせたり、短い時間ではありましたが、いろいろな発見がありました。同じ事項でも見方によって「おタカラ」だったり「困った」になったりすることも発見されました。今後この活動を拡大し、地域特性や災害・安全・健康づくりの為に全体マップづくりをすすめていきたいと考えています。

## “文化”を活用する町が人を呼ぶ

地域おこし協力隊 森 健太郎

東御市にて東京芸術大学との連携事業のサポートを行っております。森健太郎と申します。多くの人に北御牧のファンになってもらいたい！北御牧のおもしろい歴史や文化を多くの人に知ってもらいたい！そしてゆくゆくは、若い移住者が増える地域にしたいと考え、東京芸術大学と地域と連携した「域学連携事業」のサポートを行っております。

北御牧の魅力発信のため、東御市出身である保科豊巳先生の研究室の学生が中心となり、地域の魅力の調査を行っています。集まった地域の魅力を、アートの力をつけて「楽しめる」ものとして活用することで、地域の活性化を目指す試みです。北御牧地区には他にない地域の農業の歴史や、北御牧で大活躍している人、これからの北御牧を盛り上げていく若い人など、誇れるものがたくさんあります。学生たちも既に2回の調査を終え、たくさんの魅力的なものが集まっています。厳しい自然環境の中で経験し、有史から育んできた地域文化に裏付けされたこれらの魅力を、世界中の人に発信し「北御牧に住んでみたい！」「北御牧に興味がある！」と思う人を増やし、ゆくゆくは世界で一番の北御牧地域を作るのが、この事業の目的です。

そのためには地域の皆様のサポートが必要不可欠です。10月以降、彼らの考えをお伝えする機会を作りますので、ぜひご参加、ご協力のほどをお願いしたいと思っています。北御牧地域は自然と文化が融合した、他に類を見ない魅力あふれる地域です。農業とアートが織り交ざる日本で唯一の、そして世界で一番の地域として、北御牧地域が盛り上がるように頑張っていきたいと思います。

10月の火のアートフェスティバルでは、成果の一環としてアート自転車体験ワークショップを行います。北御牧地区の魅力を感じた自転車に乗って、八重原周辺でのサイクリングを楽しんでみませんか？参加をお待ちしています！



域学連携事業ワークショップ

## 協議会の活動について

### スポーツ文化部会

スポーツ大会の運営、9/13 敬老会の企画運営を行いました。



### 親子ふれあい朝市

実行委員会を組んでの初の取り組みでした。開始時間を30分遅らせたことにより、多少混乱はありましたが、盛況のうちに終了しました。

### 青少年育成部会

八重原用水ガイドマップができました。小学校高学年での学習に活用されます。

### 夏祭り「みまきニュードカンコ」

実行委員会を中心に、いままで以上に盛り上がりました。来場者数も多く花火も盛大に行われました。



### 産業経済部会

直売所建設のための研究活動を行っています。

### 生活環境部会

災害マップ作りに向け活動しています。

### 夏季スポーツ大会

宮 柄澤 佳子

宮としては久しぶりの参加となるソフトバレー。私はバレーボールの経験がなく、学生時代の体育の授業以来で、とても不安でしたが、練習・当日と他のメンバーの方達に助けていただいたり、いろいろとアドバイスをさせていただきながら、とても楽しくバレーをすることができました。同じ地区に住んでいても、なかなか交流する機会がなかった方とも一緒にできたので、この大会に参加できてよかったなと思いました。



### 編集後記

広報部長 井出 容子

今回の協議会報のテーマは「昔こんな事やってたよね」「昔からあったけど、どんな風が変わって来たのかな」ということを取り上げました。また北御牧地区の将来のビジョン作りに向けての活動を紹介しました。みまきドカンコの花火とともに夏が終わり、涼しくなりました。沢山の人がお祭りに来て、北御牧もまだまだ捨てたもんじゃなく感じました。主婦にとって盆と正月は家事が忙しいときですが、お客が来てくれるということは、ここに何か魅力があるのかもと、よい解釈をしてみませんか。